

国語科（1年）学習指導略案

1, 単元名 本となかよし「なかよしおばけとちびちびおばけ」

ジャック・デュケノワ作 大澤晶訳

2, 教材について

本の読み聞かせは子どもたちが喜ぶが、教師が読む形が一般的である。

ここでは絵だけでお話が進みほとんど文字のない本を取り上げた。絵をみて想像しながら読む本である。出てくるおばけはちょっとかわいくていたずらっ子。どんどんお話は進んでいくが、1年生の子どもたちは登場人物に自分をおきかえて楽しく読める。始めに原本のまま最後まで読み、次に子どもたちに登場人物のセリフをつけて読んでもらおうと思う。

子どもたちが絵を見易くするために絵本をパワーポイントで編集して、大きく映し出して一緒に読み進めていく。

3, 本時の学習

① 本時の目標 様子を思い浮かべながらお話を読む

② 本時の評価観点 絵を見ながら想像して読み進むことができる

自分の考えを声に出して発表できる

自分の考えと比べながら友達のを聞くことができる

③ 本時の指導過程

児童の学習内容・活動		教師の指導・支援		評価のめやす・留意点
課題設定	一通り読み終わったら、次は登場人物のセリフを発表することがわかる	導入	今日はいつもの読み聞かせと少し違うことを説明する	コンピュータ プロジェクターの用意
課題追求	登場人物を知る 絵をみてお話の展開を想像しながら読み進む 感想を発表する 登場人物になって自分の考えたセリフを言う あるいは自分の考えと比べながら友達の発表を聞く	展開	作品の紹介 「なかよしおばけとちびちびおばけ」 1回目 作品を映し出して読み進める 文字のないページは絵だけ見せる 読み終わったところで感想を発表させる 2回目 パワーポイントの1ページごと（本の見開き2ページ分で6コマ）にひとりを指名し、前で登場人物のセリフを言わせる	登場人物がどのような気持ちでいるのか想像できる 登場人物の気持ちに寄り添うことができる 友達の発表（セリフ）をしっかりと聞ける
交流・振り返り	友達の発表（セリフ）の中で気付いたことを発表する	まとめ	友達の発表（登場人物のセリフ）でよかったところを出し合わせる	声の調子 表情、動作 アイディアなど